

内燃機関に欠かせないハイテクの油

バイク用

知って得するエンジンオイルの基礎知識

最終回

進化の中で生まれたバイク用オイル

取材協力/日本サン石油 (ISO9001、ISO14001 認証取得)
TEL03-3238-0231 http://www.sunoco.co.jp/

この人に聞きました



日本サン石油
テクニカルディベロップメント&
セールス主事
松田昌次郎さん

クルマとは違う性能に合わせた
バイクだけの規格が生まれた

この世にバイクやクルマが誕生してから百数十年。その間にバイクやクルマの性能は格段に向上したが、エンジンオイルも同様に進化を遂げている。実は、エンジンオイルの缶に記されているアルファベットの記号が、そんなオイルの進化を表しているのだ。

現在売られているバイク用オイルには、「MA」「MB」という記号が入っているが、クルマ用や2000年頃より前のバイク用オイルには「SH」「SG」といった記号が記されていた。このSから始まる記号は「API（アメリカ石油協会）」が制定している、「エンジンオイルの規格の世界のスタンダード。SAから始まってB、C、D...と、年々クルマの性能が上がるのに合わせて、規格が定める性能基準が引き上げられてきた。1980年代の「SG」までの規格は、あくまでもエンジンを保護する性能の基準であった。しかし1990年代以降、世界的に省エネや環境保護の機運が高まってきたこともあり、「SH」以降の規格には、

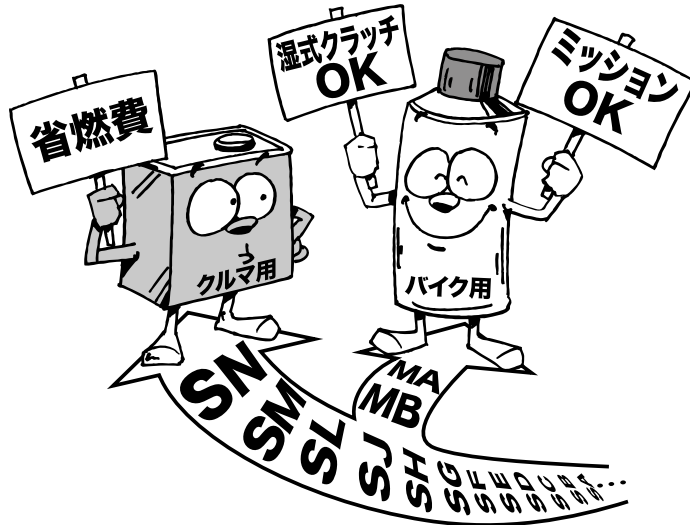
省燃費や環境保護の性能基準が含まれるようになった。

例えば、省燃費を実現するために、エンジン内部の摩擦抵抗を減らす効果のある摩擦調整剤の量は、規格が新しくなるごとに増えてきた。しかし、滑りがよくなる添加剤は、エンジンオイルに浸か

エンジンオイルでミッションも潤滑しているため、この極圧剤が少なくなると都合が悪い。

このようにクルマ用エンジンオイルがエコな方向に進化するにつれ、バイクのために必要とされる性能に開きができた。そこで、こうした湿式クラッチやミッションの潤滑といった、バイクの特性を考慮した4ストロークバイク用エンジンオイルの基準「JASO MA」「JASO MB」が1998年に作られたのである。

この規格は日本自動車技術会が制定したもので、バイクに関しては世界中で日本車のシェアが大きいこともあり、この規格が世界のスタンダードになっている。「MA」は「MB」に比べて摩擦係数が高く、湿式クラッチを採用するスポーツバイク向けで、摩擦係数の低い「MB」はスクーターなどに向けたオイルだ。



ったバイクの湿式クラッチを滑らせてしまうことになる。また、ギヤのような大きな力で摩擦する場所の潤滑に効果的な極圧剤は、主成分のリンの燃えカスになるべく排出ガスに含まれないようにと、新しい規格になるほどこの含有量が減っている。しかし、バイクは

スノコのレッドフォックスシリーズは「レーシング&スポーツ」「コンフォート&ストリート」の両方が「JASO MA」に適合。4ストローク向けエンジンオイルとして、ストリートからサーキットまで、バイクの性能をフルに引き出す性能を備えているのだ。

SUNOCO REDFOX

RACING&SPORTS

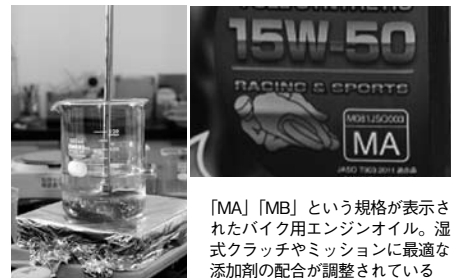
全合成

価格：オープン

(実勢価格：1ℓ=2850円編集部調べ)

0W-30 / 10W-40 / 15W-50 JASO MA適合品

レッドフォックスは、サーキットやスポーツライディング向けの「レーシング&スポーツ」だけでなく、ストリートユース向けの「コンフォート&ストリート」も「JASO MA」に適合した高性能オイルだ



「MA」「MB」という規格が表示されたバイク用エンジンオイル。湿式クラッチやミッションに最適な添加剤の配合が調整されている